

## 音楽学科 指導者推薦（AO型）入学試験エントリーガイド

### 1. 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学部音楽学科は、教育目標を達成するため、以下のような人材を広く求めます。

1. 高等学校の幅広い学習内容を習得し、音楽学科において学修を継続することに強い意欲を持っていること。
2. 社会に目を向ける広い視野を有し、音楽をとおして社会に貢献しようという目的意識を持っていること。
3. 多様な文化・価値観を受け入れる柔軟な精神を有していること。
4. 高等学校で履修した教科科目のうち国語総合（現代文）において本学での履修に必要な学力を有しており、音楽に関する知識・教養、または、一定レベルの演奏技術を有していること。

### 2. 募集人員（予定）

募集学部・学科・コース	指導者推薦（AO型）入学試験 募集人員	入学定員
芸術学部 音楽学科 ピアノコース／声楽コース／管弦打楽コース／作曲コース／ 電子オルガンコース／音楽療法コース／音楽総合コース	15名	80名

### 3. エントリー資格

本学の教育方針を理解し、勉学を強く望む者で次のいずれかに該当する者

1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2019年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2019年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2019年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 4. 指導者推薦（AO型）入学試験の特長

この入学試験は、入学志願者と本学が面談を通じて相互の理解を深め、入学者を選考していく制度です。芸術学部音楽学科では個性的で向学心に満ちた皆様の入学を期待しています。学ぶ意欲や得意とする分野・才能を大いにアピールしてください。

#### ●大学をよく理解することができる

2回以上の診断を受けることで大学との相互理解が深まり、大学の学びを充分理解したうえで出願できます。

#### ●複数の出願の機会がある

エントリー・出願の機会がそれぞれ4回に増えました。

#### ●あなたの熱意と学ぶ意欲を重視します

診断方法は面談と実技です。面談では本学で学びたいという熱意や意欲を重視します。実技は演奏発表で自己アピールすることができます。

#### ●入学までにしっかり準備ができる

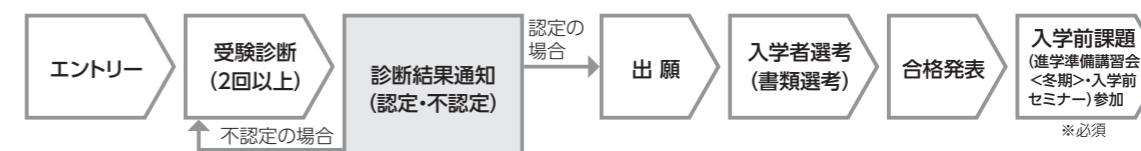
早期に進路を固めることができるので、合格後は入学前課題や入学前セミナー等に取り組み、入学後の学習準備を充分に行えます。

### 5. 全体スケジュール

指導者推薦（AO型）入学試験は「エントリー」と「出願」の二段階に分かれています。まず、エントリーを行っていただき、診断結果で「認定」された方が出願可能となります。出願後、書類選考による入学者選考を行い、合格した方が本学に入学可能となります。

※エントリー及び受験診断の費用はかかりません。

診断結果が「認定」だった場合は出願手続が可能ですが、認定されなければ再度受験診断を受けることが可能です。また、出願すると本学専願になりますのでご注意ください。



#### ■進学準備講習会<冬期>について

2019年1月19日（土）・20日（日）に実施するもので、楽典・聴音・コールユープンゲンなどの講習のほか、レッスン（40分/回）を2回無料で受けられます。期間内にお申し込みください。

#### ■入学前セミナーについて

2019年3月22日（金）～24日（日）に実施するもので、楽典・聴音の学習を行います。詳細については合格発表後に改めて通知いたします。

※進学準備講習会（冬期）及び入学前セミナーへの参加は、必須です。

### 6. エントリーについて

指導者推薦（AO型）入学試験に出願を希望する場合は、事前に登録する必要があり、この事前登録のことを「エントリー」といいます。

エントリー手続は、自分が登録したい期間にエントリー手続書類を送付していただきます。その際に5回の診断日から自分が希望する診断日をまずは2日分選択してください。ただし、原則的に1回目と2回目の診断は連続して受診するものとします。

例えば、1回目の診断を10月14日に希望する場合、2回目の診断日は必然的に11月17日となります。この場合、エントリーは8月7日～8月17日、または9月21日～10月1日のいずれかの期間で行ってください。

やむを得ない事情がある場合については、「志望理由書」に理由を記載のうえ、希望日に○をつけてください。

#### エントリー日程

第1回診断日 2018年9月2日（日）

第2回診断日 2018年10月14日（日）※オープンキャンパスと並行して実施

第3回診断日 2018年11月17日（土）

第4回診断日 2018年12月9日（日）

第5回診断日 2019年1月20日（日）※進学準備講習会（冬期）と並行して実施

#### エントリー期間

① 2018年8月7日（火）～8月17日（金）必着

② 2018年9月21日（金）～10月1日（月）必着

③ 2018年10月25日（木）～11月2日（金）必着

④ 2018年11月22日（木）～11月28日（水）必着

**エントリー書類** ※成績証明書・伴奏譜以外は、いずれも本学所定の様式

- ・指導者推薦書
- ・志望理由書
- ・エントリー票
- ・成績証明書

出身校の成績証明書。高等学校在学中の者は2年次（後期）または3年次（1学期または前期）までの成績が記載されているもの。過年度卒業の者は卒業時のものを提出すること。高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学入学資格検定合格者を含む）の場合は文部科学省が発行する「合格成績証明書」を提出してください。

- ・診断曲票
- ・指導者調査票
- ・伴奏譜 伴奏譜は声楽または歌唱での診断がある者のみ提出。

### エントリー票の交付

エントリー書類に不備がなければ、選考日時等の詳細とともにエントリー票を返送します。そのため、エントリー票には必ず切手を貼ってご提出ください。エントリー票が1回目受診日の3日前になっても届かない場合は、入試広報課まで連絡してください。

### 診断会場

札幌大谷大学 札幌市東区北16条東9丁目1-1

### 診断方法の概要

下記の1) 2) を組み合わせて診断する。

- 1) コース別実技課題
  - ① ピアノコース、声楽コース、管弦打楽コース、電子オルガンコース、音楽療法コース、音楽総合コース：課題曲の演奏
  - ② 作曲コース：自作品の提出及びそれに関する口頭試問
- 2) 面談やレッスン等、人物や学修意欲・態度を診断する

### 各診断日における診断内容

- 1) 9月2日（日）
  - ① レッスン形式の面談（30分程度）をし、終了後に次回までの課題曲を課す。レッスンで演奏する曲は、学校推薦入学試験実技課題に準ずるものとする。
- 2) 10月14日（日）
  - ① 2回目の診断である場合は、コース別実技課題を演奏後、レッスン形式で面談（30分程度）をする。
  - ② 1回目の診断である場合は、レッスン形式の面談（30分程度）をし、終了後に次回までの課題曲を課す。レッスンで演奏する曲は、学校推薦入学試験実技課題に準ずるものとする。
- 3) 11月17日（土）
  - ① 2回目以降の診断である場合は、コース別実技課題を演奏後、レッスン形式で面談（30分程度）をする。
  - ② 1回目の診断である場合は、レッスン形式の面談（30分程度）をし、終了後に次回までの課題曲を課す。レッスンで演奏する曲は、学校推薦入学試験実技課題に準ずるものとする。
- 4) 12月9日（日）
  - ① 2回目以降の診断である場合は、コース別実技課題を演奏後、レッスン形式で面談（30分程度）をする。
  - ② 1回目の診断である場合は、レッスン形式の面談（30分程度）をし、終了後に次回までの課題曲を課す。レッスンで演奏する曲は、学校推薦入学試験実技課題に準ずるものとする。
- 5) 1月20日（日）
  - ① コース別実技課題（進学準備講習会プログラム終了後）
  - ② 進学準備講習会への参加
    - ・ピアノコースは2回のピアノレッスン及び聴音、楽典
    - ・声楽コースは2回の声楽レッスン及び「聴音、楽典、コールユープンゲン」の中から最低2つを選択
    - ・管弦打楽コースは2回の管弦打楽器レッスン及び聴音、楽典
    - ・作曲コースは2回の作曲レッスン及び聴音、楽典
    - ・電子オルガンコースは2回の電子オルガンレッスン及び聴音、楽典
    - ・音楽療法コースは最低1回の実技レッスン（器楽または声楽）及び聴音、楽典、音楽療法作文

- ・音楽総合コースは2回の実技レッスン（器楽・声楽・作曲のいずれか）及び「聴音、楽典、コールユープンゲン」の中から最低2つを選択

※進学準備講習会〈冬期〉は、いずれも40分/回のレッスンに面談を含む

※楽器の使用について

1. コントラバス・小太鼓については、本学の楽器または自己所有の楽器のいずれかを使用できます。本学の楽器を使用する場合は診断曲票の「大学楽器利用」欄の番号に○をつけてください。
2. ピアノ・電子オルガン・マリンバ・ティンパニは本学の楽器を使用します。それ以外の楽器で受診の方は各自持参してください。

### 診断結果通知

- 第2回診断分 2018年10月23日（火）
- 第3回診断分 2018年11月20日（火）
- 第4回診断分 2018年12月13日（木）
- 第5回診断分 2019年1月24日（木）

本人に診断結果を速達郵便で通知します。（掲示での発表は行いません）なお、電話による結果の問合せには一切応じません。

## 7. 出願について

### 出願資格

指導者推薦（A O型）入学試験の受験診断において、認定を受けた者。※出願者は本学専願。

### 出願期間

- ① 2018年11月1日（木）～11月6日（火）必着
- ② 2018年12月4日（火）～12月10日（月）必着
- ③ 2018年12月25日（火）～2019年1月8日（火）必着
- ④ 2019年1月28日（月）～2月1日（金）必着

### 出願書類

「2019年度学生募集要項」（2018年7月発行予定）に記載の出願書類を提出してください。

### 入学者選考

診断結果をふまえ、書類審査にて選考します。（出願書類提出後は受験のために来学する必要はありません。）

### 入学検定料

30,000円

### 合格発表

本人に合否通知を速達郵便で通知します。（掲示での合格発表は行いません）。なお、電話による合否の問合せには一切応じません。

- ① 2018年11月27日（火）
- ② 2018年12月25日（火）
- ③ 2019年1月28日（月）
- ④ 2019年2月13日（水）

### 学費等納付金

学費などの納付金は「2019年度学生募集要項」（2018年7月発行予定）を確認してください。

### 入学手続

手続については、合格通知書の同封書類にて指定された期限までに入学金を納付し、本学指定の書類を提出ください。入学手続日は以下のとおりです。

- ① 2018年12月11日（火）
- ② 2019年1月10日（木）
- ③ 2019年2月12日（火）
- ④ 2019年2月28日（木）

**注意事項**

- ・提出されたエントリー書類、出願書類、納付された入学検定料及び入学料は返却できません。
- ・指導者推薦書にご記入いただく方は、受診者が師事する指導者とします。(実技指導者、高校の音楽の先生、部活動の顧問の先生など)
- ・指導者推薦(AO型)入学試験に合格された方は、音楽学科進学準備講習会<冬期>(2019年1月19日(土)・20日(日)無料)及び入学前セミナー(2019年3月22日(金)～24日(日)無料)へ参加するものとし、あわせて指定された課題を入学前に学習していただきます。
- ・身体に障がい有するなど、受験上及び修学上特別な配慮を必要とされる場合は、事前に入試広報課へ相談してください。

**芸術特待生入学試験、給費生入学試験の出願について**

指導者推薦(AO型)入学試験の合格者は、さらに芸術特待生入学試験または給費生入学試験を受験することができます。各入学試験の出願期間を確認のうえ、出願してください。指導者推薦(AO型)入学試験の合格者がこれらの入学試験を受験する場合の入学検定料は15,000円(芸術特待生入学試験または給費生入学試験の出願時に指導者推薦(AO型)入学試験の合否結果がまだ通知されていない場合(例:2019年1月28日(月)合格発表)、入学検定料は30,000円)となります。なお、芸術特待生入学試験と給費生入学試験両方に出願することはできませんのでご注意ください。

詳細は「2019年度学生募集要項」(2018年7月発行予定)をご確認ください。

**指導者推薦書記入について(お願い)**

〈記入内容〉

- 1.「専攻実技に関する所見」は指導年数、生徒の実技の進捗、技術的・音楽的に特記すべき事項について記入してください。
- 2.「人物に関する所見」は生徒の性格、責任感、自主性、協調性など、特に重要と思われることについて記入してください。

〈記入者〉

受診者が師事する指導者。(実技指導者、高校の音楽の先生、部活動の顧問の先生など)

実技課題 ※学校推薦入学試験に準ずる。次頁より参照

**8. コース別実技課題****ピアノコース**

**ピアノ** 下記の①②③からそれぞれ1曲ずつ選択し、3曲演奏する。演奏は暗譜とする。繰り返しはしない。

①バッハ：平均律ピアノ曲集第1巻、第2巻より1曲(プレリュード及びフーガとも演奏)。

②次の練習曲より任意の1曲。

- ・ツェルニー：50番練習曲 Op.740
- ・ツェルニー：60番練習曲 Op.365
- ・クラマー=ビューロー：60の練習曲
- ・クレメンティ：グラドウス・アド・バルナツスム
- ・モシュコフスキー：15の練習曲 Op.72
- ・ショパン：練習曲Op.10またはOp.25

③ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトのソナタから1つの楽章(緩徐楽章を除く)。

**声楽コース**

**声楽** 下記の課題曲の中から2曲を選択し、当日指定された1曲を演奏する。

演奏は暗譜とし、歌詞は訳詞ではなく原語とする。

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| ・中田 章        | 早春賦                      |
| ・中田 喜直       | さくら横ちょう                  |
| ・G.Bononcini | Per la gloria d'adorarvi |
| ・F.Durante   | Vergin, tutto amor       |
| ・G.B.Bassani | Dormi, bella             |
| ・F.P.Tosti   | Tormento                 |

**管弦打楽コース ※各楽器とも伴奏はなし****■管楽器****●フルート**

- 1.音階 アルテスフルート教則本第2巻(日本フルートクラブ刊)より#・bそれぞれ3つまでの長調と短調(和声的短音階)の中からスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。



- 2.課題 下記の①と②を演奏する。

①Andersen：24Etude Op.21よりNo. 2,3,4,10,13,18,24とE.Koehler：35 Exercises For Flute Op.33第2巻よりNo.5,7,8,10,12の合計12曲の中から2曲を選択し当日指定された曲。

②自由曲1曲。繰り返しはしない。(ピアノ伴奏付きの曲を選択する場合はピアノパート無しで演奏する)

**●オーボエ**

- 1.音階 C-dur, D-dur, Es-dur, E-dur, F-dur, h-moll, c-moll, cis-moll, d-moll(短調は旋律的及び和声的短音階)の中から1つスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

長調例 (スラー例)

短調例 (和声的)

短調例 (旋律的)

2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①L. Wiedemann : 45 Etuden für OboeよりNo. 5, 9, 10, 11, 12の中から当日指定された曲。  
 ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する。(出版社は問わない)  
 J. Haydn : オーボエ協奏曲 ハ長調 第1楽章  
 F. Krommer : オーボエ協奏曲 ヘ長調 作品52 第1楽章  
 L. A. Lebrun : オーボエ協奏曲 第1番 ニ短調 第1楽章

●クラリネット ※使用する楽器はB<sup>b</sup>管とする。

1.音階 Rolf Eichler : Scales for Clarinet (国立音楽大学出版)よりG-dur, F-dur, B-dur, e-moll, d-moll, g-moll (短調は旋律的短音階)の中からスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

長調例

短調例 (旋律的)

2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①C. Rose : 32 ETUDES (Leduc版または全音楽譜出版社)より2曲を選択し当日指定された曲。  
 ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する(出版社は問わない)  
 ・ C. M. von Weber : Concertino op.26  
 ・ H. Rabaud : Solo de Concours  
 ・ A. Messenger : Solo de Concours

●バスクラリネット ※使用する楽器は、Low Es管、Low C管のどちらでも可。

1.音階 G-dur, F-dur, B-dur, Es-dur, e-moll, d-moll, g-moll, c-moll (短調は旋律的短音階)の中からスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

長調例

短調例 (旋律的)

2.課題 下記の①と②を演奏する。

- ①Pedro Rubio : 25 progressive studies for bass clarinet (Musica Didactica版)よりNo. 3, 8から当日指定された曲。  
 ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する。  
 ・ Eugene Bozza : BALLADE for Bass Clarinet and Piano (Southern Music Company版)  
 ・ Jan Hadermann : SPOTLIGHTS ON THE BASS CLARINET for B-flat Bass Clarinet and Piano (DE HASKE Music Publishers版)

●ファゴット

1.音階 #・bそれぞれ3つまで長調と短調(短調は旋律的短音階)の中からスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

長調例

短調例 (スラー例)

2.課題 下記の①と②を演奏する。(繰り返しはしない。版の指定なし)

- ①J. Weissenborn Bassoon Studies Op. 8 Vol. IIよりNo. 1~14の中から当日指定された曲。  
 ②J. Weissenborn Bassoon Studies Op. 8 Vol. IIよりNo. 15を演奏する。

●サクソフォーン ※使用する楽器はアルトサクソフォーンとする。

1.音階 須川展也 : サクソフォーントレーニングブック(音楽之友社)の#・bそれぞれ3つまでの長調と短調(和声的短音階)の中から当日指定されたアーティキュレーションで演奏する。調とアーティキュレーションは当日指定。暗譜とする。

アーティキュレーション例 ① ② ③ ④全部スラー

長調例

短調例 (和声的)

2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①フェルリング : サクソフォーンのための48の練習曲(Leduc版)よりNo. 5, 13, 19, 21の4曲の中から当日指定された曲。  
 ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する。繰り返しはしない。  
 ・ ランティエ : シシリエンヌ  
 ・ リュエフ : シャンソンとパスピエ(Leduc版)  
 ・ モーリス : プロヴァンスの風景よりII・III楽章(Lemcine版)

●ホルン ※使用する楽器はF・B<sup>b</sup>ダブル、F・B<sup>b</sup>セミダブルのいずれかとする。

1.音階 C-dur, B-dur, As-dur, c-moll, b-moll, as-moll (短調は旋律的短音階)の中から長調と短調を1つずつタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

長調例

短調例 (旋律的)

2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはなし。

- ①C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for French horn Book I (Carl Fischer版)よりNo. 3, 7, 8, 10, 13, 15の中から当日指定された2曲  
 ②W. A. Mozart : ホルン協奏曲第3番より第1楽章(カデンツァなし)

●トランペット ※使用する楽器はB<sup>b</sup>管とする。

- 1.音階 C-dur, B-dur, G-dur, c-moll, a-moll, g-moll (短調は和声的短音階) の中からスラーまたはタンギングで演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

Moderato

長調例 

短調例 (和声的) 

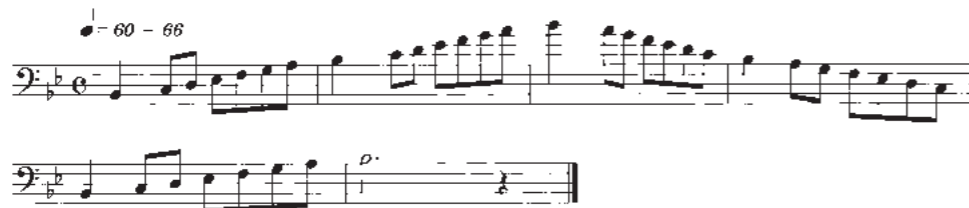
- 2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet Book 1 (Carl Fischer版) よりNo. 8, 10, 12, 16, 19の中から当日指定された曲。
- ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する。繰り返しはしない。
- ・ヘンデル：アリアとヴァリエーションの中からテーマとVar. 1, 2, 3
  - ・Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12の幻想曲とアリアより第4番 Tyrolean Songからイントロダクション・テーマ・Var. I . II
  - ・Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12の幻想曲とアリアより第9番 German Themeからイントロダクション・テーマ・Var. I . II

## ●トロンボーン

- 1.音階 下記の音階を演奏する。暗譜とする。

$\bullet = 60 - 66$




- 2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone Book 1 (Carl Fischer版) よりNo. 4, 6, 10, 11の中から当日指定された1曲。
- ②C. SAINT-SAENS : CAVATINE (Durand版)

## ●バス・トロンボーン

- 1.音階 下記の音階を演奏する。暗譜とする。

$\bullet = 60 - 66$



- 2.課題 下記の①と②を演奏する。

- ①O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (Carl Fisher版) よりNo.1 (a~m), 2, 3, 6, 14の中から当日指定された曲。
- ②E. Sachse : Concertino for Bass Trombone in F major (Zimmermann版) 1, 2楽章 (最初から Adagioの終わりまで)

## ●ユーフォニアム

- 1.音階 下記の音階を演奏する。暗譜とする。

Andante Sostenuto



- 2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book 1 (Carl Fischer版) よりNo.5
- ②C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trombone Book 1 (Carl Fischer版) よりNo. 7 または No.20から任意の1曲を選択して演奏する。

## ●テューバ

- 1.音階 下記の音階を演奏する。暗譜とする。

Andante Sostenuto



- 2.課題 下記の2曲を演奏する。繰り返しはしない。

- ①C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Robert King Music版) よりNo.19
- ②V. Blazhevich : 70 studies for Tuba (Robert King Music版) よりNo.24

## ■弦楽器

## ●ヴァイオリン

- 1.音階 下記の①または②のいずれかを演奏する。暗譜とする。

- ①任意の調を選択し, 3オクターブの音階と分散和音。  
フリマリー音階教本 (全音楽譜出版社), 小野アンナのヴァイオリン音階教本 (音楽之友社) から選択すること (演奏法は譜例参照)。

譜例



- ②カール・フレッシュのスケールシステムから, 任意の調を選択する。

演奏箇所は, すべての調において, 5番の最初の12小節。スラーのつけ方はC-durに準ずる。

- 2.課題 下記の協奏曲から, 任意の1曲を選択し, 演奏する。暗譜とする。(ピアノ伴奏はなし)

- |           |         |            |                       |
|-----------|---------|------------|-----------------------|
| ①ヘンデル     | ソナタ第3番  | Op. 1 - 12 | } 第1楽章および第2楽章         |
| ②ヘンデル     | ソナタ第4番  | Op. 1 - 13 |                       |
| ③バッハ      | 協奏曲イ短調  | BWV1041    | 第1楽章                  |
| ④モーツァルト   | 協奏曲第3番  | K.216      | } 第1楽章または第3楽章         |
| ⑤モーツァルト   | 協奏曲第4番  | K.218      |                       |
| ⑥モーツァルト   | 協奏曲第5番  | K.219      |                       |
| ⑦ブルッフ     | 協奏曲第1番  | Op.26      |                       |
| ⑧メンデルスゾーン | 協奏曲ホ短調  | Op.64      |                       |
| ⑨ヴィエニャフスキ | 協奏曲第2番  | Op.22      | } 第1楽章または第3楽章あるいは第5楽章 |
| ⑩サン＝サーンス  | 協奏曲第3番  | Op.61      |                       |
| ⑪ラロ       | スペイン交響曲 | Op.21      |                       |

●**ヴィオラ** ※ヴィオラ専攻はヴァイオリンで受験することも可。

- 1.音階 カール・フレッシュのスケールシステムから、任意の調を選択し、演奏する。暗譜とする。演奏箇所は、すべての調において、5番の最初の12小節。スラーのつけ方はC-durに準ずる。テンポは4分音符=60以上。

譜例

- 2.課題 下記の中から1曲を選択し第1楽章か第3楽章を演奏する。あるいは、その難易度に準ずる任意の曲1曲（10分程度）を演奏する。暗譜とする。

- ①C.Stamitz : Concerto D-dur  
②F.A.Hoffmeister : Concerto D-dur  
③J.C.Bach : Concerto c-moll

●**チェロ**

- 1.音階 任意の調を選択し3オクターブ演奏する。暗譜とする。

譜例

- 2.課題 下記の中から1曲を選択し、任意の楽章を演奏する。暗譜とする。

- ①バロックまたは古典派のソナタ  
②バロックまたは古典派の協奏曲  
③バッハ：無伴奏チェロ組曲

●**コントラバス**

- 1.音階 B-dur, C-dur, D-durの中から2オクターブを演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

譜例

- 2.課題 自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とする。繰り返しはしない。但し、バロック・ソナタ（マルチェロ、ジョバンニーノ等）を選択した場合、第1、第2楽章を演奏すること。コンチェルトを選択した場合、第1楽章のみ演奏すること。

●**クラシックギター**

- 1.音階 譜例に従い演奏する（⑥の弦から①の弦までを使う。開放弦は使用しない）。暗譜とする。

長調例

短調例  
(和声的)

短調例  
(旋律的)

- 2.課題 F.Sor : Six Waltzes op.18より任意の1曲を選択して演奏する。暗譜とする。

■**打楽器**

●**小太鼓**

1.基礎打ち

- 二つ打ち 譜例に従い30秒以上かけて演奏すること。なお、最初と最後は♪=60位で演奏する。

- ロール打ち 譜例に従い30秒以上かけて演奏すること。

- 2.課題 Anthony J.Cirone : Portraits In Rhythmより1, 3, 4, 6, 9, 13, 14より当日指定された1曲を演奏する。

●**ティンパニ**

1.基礎打ち

- 二つ打ち 譜例に従い30秒以上かけて演奏すること。なお、最初と最後は♪=60位で演奏する。

- ロール打ち ティンパニによるロール（26インチを用いcにチューニングして）譜例に従い30秒以上かけて演奏すること。

- 2.課題 SAUL GOODMAN : MODERN METHOD for Tympaniより Exercise47~56より当日指定された2曲を演奏する。

## ●マリンバ

1.音階 譜例に従い全調を演奏する。調は当日指定。暗譜とする。

Moderato

長調例



短調例



2.課題 下記の①と②を演奏する。繰り返しはしない。

- ①Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Chappell版/Alfred版 (改訂版) どちらも可) p.62 ~ p.67 (39ETUDESより I ~ VIII) より当日指定された曲を演奏する。
- ②下記の中から任意の1曲を選択して演奏する。
- ・田中 利光 : マリンバのための二章より I
  - ・田中 利光 : マリンバのための二章より II
  - ・三善 晃 : 会話より 1
  - ・三善 晃 : 会話より 4
  - ・J.S.Bach : チェロ組曲 1 番BWV1007 (Peters版) よりPrelude

## 作曲コース

- 1.作曲 与えられた2~4小節程度のモチーフを元に、ピアノ用の小曲を作る。形式は自由。3時間以内。試験開始1時間後からピアノを使うことができる。  
※すでに制作した自作の楽譜、音源などがあれば、参考資料として出願時に添付しても良い。
- 2.ピアノ 自由曲1曲(楽譜の出版されているものに限る)を演奏する。演奏は暗譜とする。  
繰り返しはしない。

## 電子オルガンコース ※使用機種はYAMAHA ELS-02C, KAWAI DT9とする。

## 1.電子オルガン

①音階 全調の中から当日指定。暗譜とする。

長調例

♩ = 80~120



短調例

♩ = 80~120




②課題 1) 楽譜の出版されているクラシック曲(ポップス風, ジャズ風の編曲がなされているものは除く)

2) 自由曲

演奏は暗譜とする。繰り返しはしない。MDRの使用範囲はレジストレーションデータ再生のみ。XG音源は一切使用できない。

使用可能な記録媒体は以下の通り。

YAMAHA ELS-02C … USBメモリ  
KAWAI DT9 … フロッピーディスク

## 音楽療法コース

1.歌唱 自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とし、歌詞は訳詞ではなく原語とする。

2.器楽 ピアノ, 管弦打楽器, 電子オルガンの中から任意の楽器による1曲。

繰り返しはしない。演奏は暗譜でなくてもよい。

- ・ピアノ 古典派のソナタから任意の一楽章(緩徐楽章を除く)を演奏する。
  - ・管弦打楽器 自由曲1曲を演奏する(管弦打楽器コースの楽器から1つを選択)。
  - ・電子オルガン 自由曲1曲を演奏する(クラシック曲とする。ポップス風, ジャズ風の編曲は除く)。
- 使用可能な記録媒体は以下の通り。音色データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。

YAMAHA ELS-02C … USBメモリ  
KAWAI DT9 … フロッピーディスク

## 音楽総合コース

下記の①または②のいずれかを演奏する。

①ピアノ, 管弦打楽器, 電子オルガンの中から任意の楽器により自由曲1曲を演奏する。

ただし, 管弦打楽器は管弦打楽器コースの楽器から1つを選択するものとする。

②声楽の自由曲1曲を演奏する。演奏は暗譜とし、歌詞は訳詞ではなく原語とする。繰り返しはしない。